

# 道徳科学習指導案

1 主題名 いつも正直に（内容項目 A－（2）：正直、誠実）

2 教材名 1年「どんぐり」（出典：東京書籍「あたらしいどうとく1」）

## 3 主題設定の理由

### （1）ねらいとする価値について

本主題の学習指導要領における位置づけは、以下の通りである。

A 主として自分自身に関すること

2 正直、誠実〔第1学年及び第2学年〕

うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。

本主題は、偽りなく真面目に真心を込めて、明るい心で楽しく生活することに関わる内容項目であり、中学年の「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。」、高学年の「誠実に、明るい心で生活すること。」、中学校の「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。」に発展していく内容である。

過ちや失敗は誰にも起こり得ることであり、それによって自分自身が責められたり、不利な立場に立たされたりすることがある。そのことを回避しようとして、うそをついたりごまかしをしたりすることがあるが、あくまでも一時しのぎで真の解決には至らず、他者の信頼を失うことにもなってしまう。

低学年の段階においては、発達的特質から、うそをついたりごまかしをしたりすることがいけないことだと認識しつつも、自分の言動を他者から責められたり笑われたりされないよう、自己防衛や逃避欲求、自己顕示などのためにうそをついたりごまかしをしたりして、後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる児童が少なくない。いけないことをしてしまったときには自分の非を素直に認め、謝ることができるような心情を身に付けるとともに、人の失敗を責めたり笑ったりしないような態度も養い、児童一人ひとりが正直で素直に、明るく伸び伸びと学校生活や家庭生活を送っていけるよう、本時が、良心に従って行動することの良さについて深く考えられるような時間にしたいと考える。

### （2）児童の実態（男子14名 女子14名 計28名）

1学期に行った「道徳アンケート」の結果は、以下の通りである。

1 あなたは、道徳の時間に自分のことについて考えることができますか。	よくできる	20	だいたいできる	7	あまりできない	1	できない	0
2 あなたは、道徳の時間に考えたことを発言することができますか。	よくできる	9	だいたいできる	17	あまりできない	2	できない	0
3 あなたは、道徳の時間に友だちの考えを聞いてはったり、なるほどと思ったりしたことがありますか。	よくある	8	時々ある	16	あまりない	4	ない	0
4 あなたは、道徳の時間に学習したことを、道徳以外の教科の学習をしているときに思い	よくある	7	時々ある	11	あまりない	9	ない	1

	出すことがありますか。				
5	あなたは、道徳の時間に学習したことを、行事など学習以外の活動で思い出せますか。	よくある	8	時々ある	7
		あまりない	8	ない	5
6	あなたは、道徳の時間に学習したことを家の人に話すことがありますか。	よくある	12	時々ある	5
		あまりない	7	ない	4
7	あなたは、道徳の時間に学習したことが、ためになると思えますか。	そう思う	13	思うことがある	12
		あまり思わない	2	思わない	1

これらのことから、多くの児童が道徳の授業に意欲的に取り組み、意見の発表や交流を活発に行おうとしていることがうかがえる。その反面、各教科や特別活動との関連付けや、家庭との連携が図れていないなど、道徳で学習したことを学校生活や家庭生活で生かしていないという現状も見受けられる。

また、事前に実施した本主題に関するアンケートの結果は、以下の通りである。

1	あなたは、いけないことをしたときに、うそをついたり、ごまかしたりしたことがありますか。	ある	11	ない	17
2	それは、どうしてですか。	<p><b>【あると回答した児童】</b>  怒られたくなかったから。  おもしろかったから。  約束を守らずに、うそをついた。  慌ててうそをついてしまった。  やってはいけないのに、やってしまった。</p> <p><b>【ないと回答した児童】</b>  ちゃんとと言わないと怒られるから。  うそをついたら悪いから。  言っていないことと悪いことがあるから。  やられた人がかわいそうだから。  やってはいけないことをしたことがないから。  友だちがいなくなっちゃうから。  しっかり者になりたいから。  みんなが困って迷惑になるから。  うそをつくと鼻が伸びると言われたから。</p>			

なお、事前アンケート以外にも、「うそをつくことはいけないことかどうか」挙手を促したところ、全員が、いけないことであると回答した。うそをつくことはいけないことであるという認識をもちつつも、漠然とした気持ちでうそをついてしまった児童や、怒られたくないという理由でその場を取り繕う、相手のことを考えずに面白半分でうそをつく、慌ててとっさにうそをついてしまうなど、一時しのぎや自己防衛、思いやりに欠ける行動を取ってしまったことのある児童が見られる結果となった。

### (3) 教材観

公園の林にどんぐりがたくさん落ちていることを友人のこうじから聞いたようすけは、下校途中に公園に寄り道をし、どんぐり拾いに夢中になってしまう。遅く帰宅したようすけが、母親に「こうじさんと学校で遊んでいた、先生もいって言った。」と、1回目のうそをついてしまう。その後、ようすけがランドセルを下ろそうとすると、ランドセルの隙間から拾ってきたどんぐりが転がり落ちてしまう。これに対してようすけは、「こうじさんがくれた。」と、2回目のうそをついてしまう。

本資料のねらいは、「うそをついたりごまかしたりしないで、明るく生活しようとする心情を育てる。」である。主人公の行動を通して、うそをついたりごまかしをしたりすることは物事を解決する手段にはならず、決してやってはいけないことであるということに児童一人ひとりが改めて気づき、これまでの自身の考え方や言動をふり返った上で、これから自分が取るべき行動について深く考えるために、本教材は効果的であると考えられる。

## 4 指導上の支援及び留意事項

### <事前>

- ・本主題に関するアンケートを実施し、児童の意識の状況を把握する。
- ・言語環境を整えたり、話を聞く姿勢を繰り返し指導したりすることで、児童が意見を発表しやすい雰囲気を作る。
- ・道徳ノートを活用し、児童一人ひとりが自分なりの考えを書けるよう、繰り返し指導する。

### <本時>

- ・事前アンケートの結果を提示し、本時の学習に対する意識をもたせる。
- ・うそをつくことはいけないという認識のもと、うそをつくるとどんな気持ちになるのかを考えられるような授業展開や発問を工夫する。
- ・役割演技を取り入れ、主人公がうそをついたときの気持ちを捉えやすくする。
- ・意図的指名などでできるだけ多くの児童に意見を発表させ、多くの意見を吸い上げた上で、様々な考え方があることに気付けるようにする。
- ・ペア学習やグループ学習など学習形態を工夫し、意見の交流がしやすくなるようにする。
- ・ゆさぶりなどの補助発問を用いたやり取りを通して、児童の多様な考えを吸い上げたり、考えを深めたりできるようにする。

### <事後>

- ・本時の学習の様子を学級通信で紹介し、家庭へも啓発する。
- ・学校生活の中での児童の模範的な行動を取り上げて認めたり、学級に発信したりすることで、明るく素直に生活していこうとする児童の育成に努める。

5 本時の学習

(1) ねらい うそをついたりごまかしたりしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。

(2) 準備 児童：教科書、道徳ノート  
 教師：教師用タブレット、モニター、場面絵、どんぐり、掲示物

(3) 展開

過程	学習活動と主な発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問	予想される児童の反応	指導上の支援
導入 4分	1. 学習に対する意識をもち、本時のめあてを知る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         【めあて】                          うそをつく、どんな気持ちになるのでしょうか。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うそをついたことがある人が結構いるな。</li> <li>・うそをつくのは良くないな。</li> <li>・どうしてうそをついたのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの結果をモニターに映し、本時の学習への意識をもたせる。</li> </ul>
展開	2. 教師の範読を聞き、話し合う。  (1) ようすけが寄り道をしたときの場面について捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんどんぐりがあるな。</li> <li>・どんぐり拾いは楽しいな。</li> <li>・ちょっとくらいなら、寄り道してもいいかな。</li> <li>・寄り道はよくないけど、ばれなければ大丈夫。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材「よりみち」での学習を想起させ、寄り道は良くないことであるという認識のもとで気持ちを考えさせる。</li> </ul>
33分	(2) ようすけがうそをついたときの場面について捉える。  ○うそをついたとき、ようすけは、どんな気持ちだったでしょう。  ◎ようすけが、さっきよりもっと胸がドキドキしたのは、どうしてですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うそをついちゃった。どうしよう。</li> <li>・本当のことを言ったら怒られる。</li> <li>・黙っていれば、ばれないよ。</li> <li>・お母さんごめんね。</li> <li>・2回もうそをついたから。</li> <li>・どんぐりが落ちてきて、うそがばれると思ったから。</li> <li>・本当のことを言えば良かったと思っているから。</li> <li>・もっと怒られると思ったから。</li> <li>・自分が悪いのに、こうじさんのせいにしてしまったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技をし、ようすけの気持ちを捉えやすくする。                          児童：ようすけ                          教師：母親</li> <li>・ようすけの気持ちを考えながら役割演技を見るよう児童に伝え、聞く意識をもたせる。</li> <li>・ゆさぶりなどを用いて、児童の多様な意見を引き出せるようにする。</li> </ul>

	<p>(3) ようすけの今後の行動を、自分に置き換えて考える。</p> <p>○この後、みんなだったら、お母さんに本当のことを言いますか。それとも、言わないですか。</p> <p>◇それは、どうしてですか。</p>	<p><b>【言う】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちがすっきりするから。</li> <li>・うそは、いつかばれるから。</li> <li>・もうこれ以上、うそをつきたくないから。</li> </ul> <p><b>【言わない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言ったら怒られるから。</li> <li>・言ったらお母さんが悲しむから。</li> <li>・黙っていれば、ばれるいから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の立場になって、自分だったらどうするかを考えられるようにする。</li> <li>・ゆさぶりなどを用いて、児童の多様な意見を引き出せるようにする。</li> </ul>
終末8分	<p>3. めあてに戻り、本時の学習をふり返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うそは悪いことだから、絶対にうそはつかない。</li> <li>・悪いことをしたら、正直に言う。</li> <li>・悪いことをしたら、素直に認める。</li> <li>・うそをついて、家の人や友だちに迷惑をかけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習から考えたことや思ったことをノートにまとめるよう促す。</li> </ul>

## 6 板書計画

22 どんぐり

**めあて**  
うそをつくとは、どんな気持ちになるのでしょうか。

**一かいめのうそ**  
うそをついちゃった。本とこのことをいったら、おこられるな。だまっていれば、ばれるいよ。

**二かいめのうそ**  
二かいもうそをついてしまったから。どんぐりがおちてきて、うそがばれるとおもったから。もとおこられるとおもったから。じぶんがわるいのに、こうじさんのせいにしたから。うそなんかつかなければよかった。

**い**  
気分がすっきりするから。うそは、いつかばれるから。これいじょう、うそをつきたくないから。

**いわない**  
おこられるから。おかあさんがかなしむから。だまっていれば、ばれるいから。

**い**  
わるいことをしてしまっただから...  
ふりかえり

もっともっと  
むねが  
どきどき